

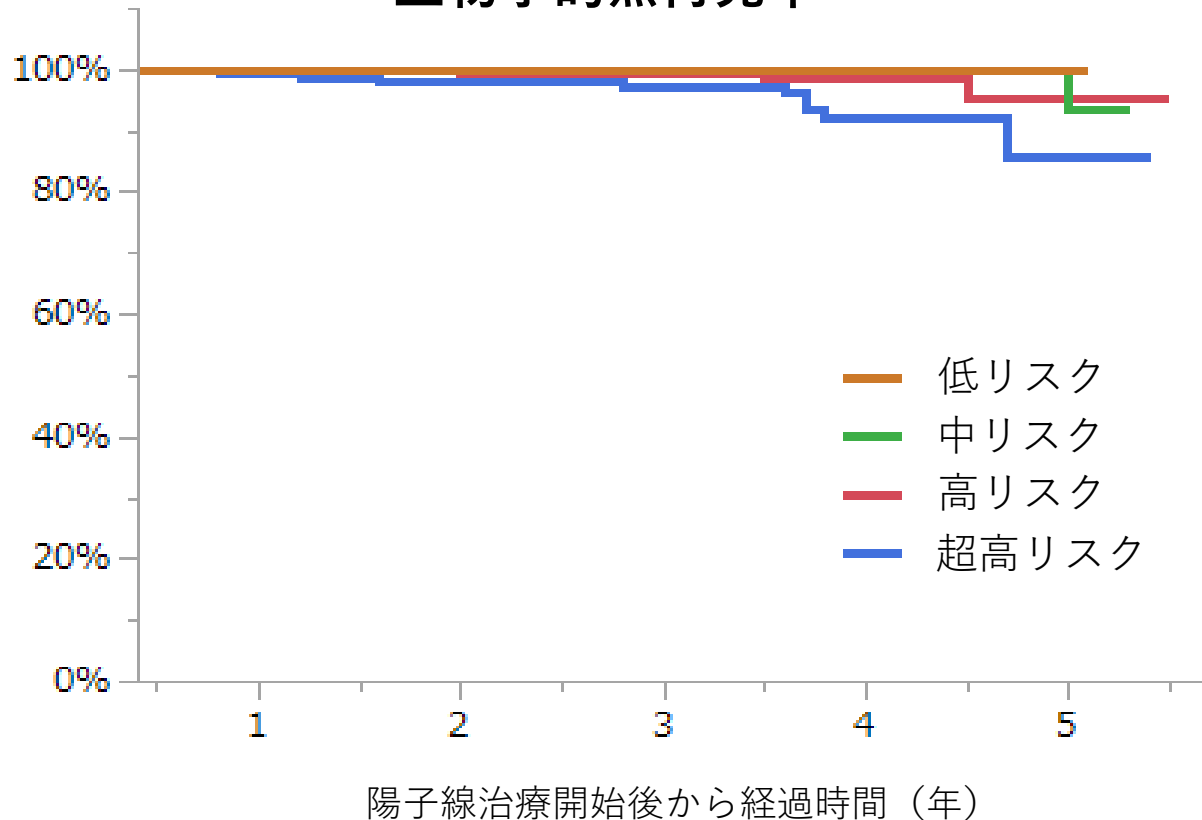
● 前立腺癌

解析対象：471 症例（2019年5月～2021年12月に陽子線治療を実施）

経過観察期間：中央値 3.7 年（四分位範囲：3.1 - 4.2 年）

低リスク / 中リスク / 高リスク / 超高リスク = 7 / 134 / 175 / 155

生物学的無再発率



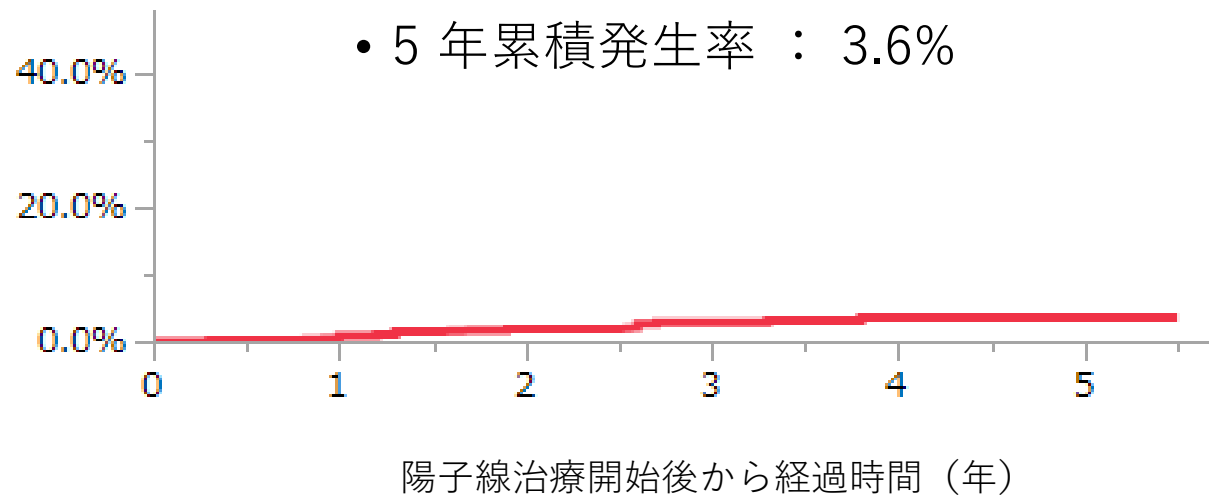
リスク分類	低	中	高	超高
症例数	7	134	175	155
生物学的再発数	0	1	3	9
生物学的再発割合 (%)	0	0.7	1.7	5.8
3年 生物学的無再発率 (%)	100	100	99.4	97.3
4年 生物学的無再発率 (%)	100	100	98.5	91.9
5年 生物学的無再発率 (%)	100	93.3	95.4	85.8

● 前立腺癌に対する陽子線治療後の消化器系有害事象

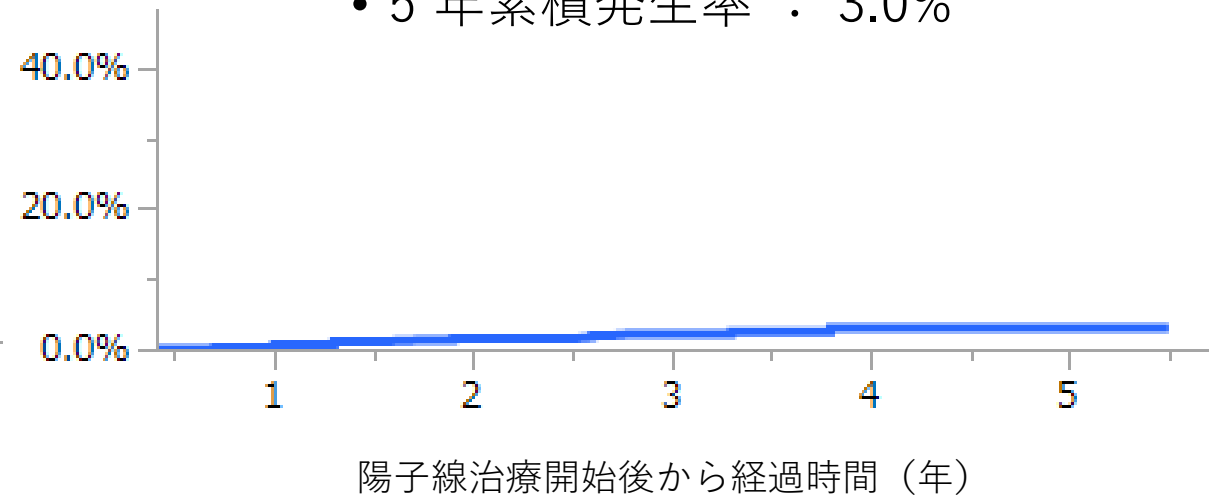
**Grade 2* 以上の消化器系有害事象の発生率
(何らかの処置を要した直腸障害の発生率)**

**内服や焼灼術などの
何らかの処置を要した直腸出血の発生率**

- 3年累積発生率 : 2.9%
- 5年累積発生率 : 3.6%



- 5年累積発生率 : 3.0%

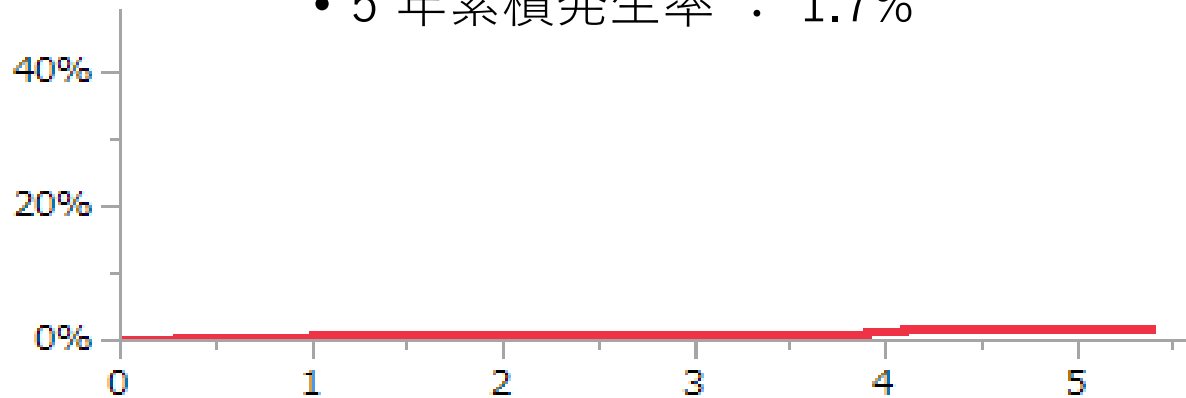


※ 有害事象の grade の決定には、RTOG (Radiation therapy oncology group) とEORTC (European organization for research and treatment of cancer) により作成された放射線治療による有害事象の重症度を評価する grading systemを用いています (参照 : [Radiation Oncology/Toxicity grading/RTOG - Wikibooks, open books for an open world](https://en.wikibooks.org/wiki/Radiation_Oncology/Toxicity_grading/RTOG)) 。

● 前立腺癌に対する陽子線治療後の泌尿器系有害事象

Grade 3* 以上の泌尿器系有害事象の発生率 (重篤な排尿障害や肉眼的血尿の発生率)

- 3年累積発生率 : 0.6%
- 5年累積発生率 : 1.7%



陽子線治療開始後から経過時間 (年)

※ 有害事象の grade の決定には、RTOG (Radiation therapy oncology group) とEORTC (European organization for research and treatment of cancer) により作成された放射線治療による有害事象の重症度を評価する grading system を用いています (参照 : [Radiation Oncology/Toxicity grading/RTOG - Wikibooks, open books for an open world](https://en.wikibooks.org/wiki/Radiation_Oncology/Toxicity_grading/RTOG)) 。